

Love for Hokkaido

北海道倶楽部 バッジのご紹介

ブラウンリボンバッジ



色は北方四島の「土地」の色であるベージュがかかったブラウン（土色）です。北方領土問題は「土地の拉致」として、皆さんに関心を持ってもらいたいという目的で作られました。

千島桜バッジ



北方領土返還要求運動の「シンボルの花」として「千島桜」が選ばれ、啓発資材として活動の気運を高めています。

新幹線バッジ



北海道新幹線は2016年に開業しましたが、札幌延伸はまだ進んでいません。北海道各地への延伸の早期実現を願って作成されました。



ご購入はこちらでご確認ください。

新規入会、寄附金募集を行っております。

北海道倶楽部の公益事業の趣旨にご賛同いただける方をお待ちしております。（正会員年会費 15,000 円、維持会員 1 口：年 3 万円（会費には北海道情報紙「北海道倶楽部」の購読料（定価 80 円 年 11 回）を含みます）詳しくは HP をご覧ください。

この資料は北海道遺産構想推進協議会「北海道遺産」の下記写真等を使用しています。

- ・「アイヌ文様」（北海道各地）
- ・「アイヌ語地名」（北海道各地）
- ・「ワッカ／小清水原生花園」（常呂町、小清水町）
- ・「摩周湖」（弟子屈町）



公益社団法人 北海道倶楽部

〒100-0014

東京都千代田区永田町 2-17-17

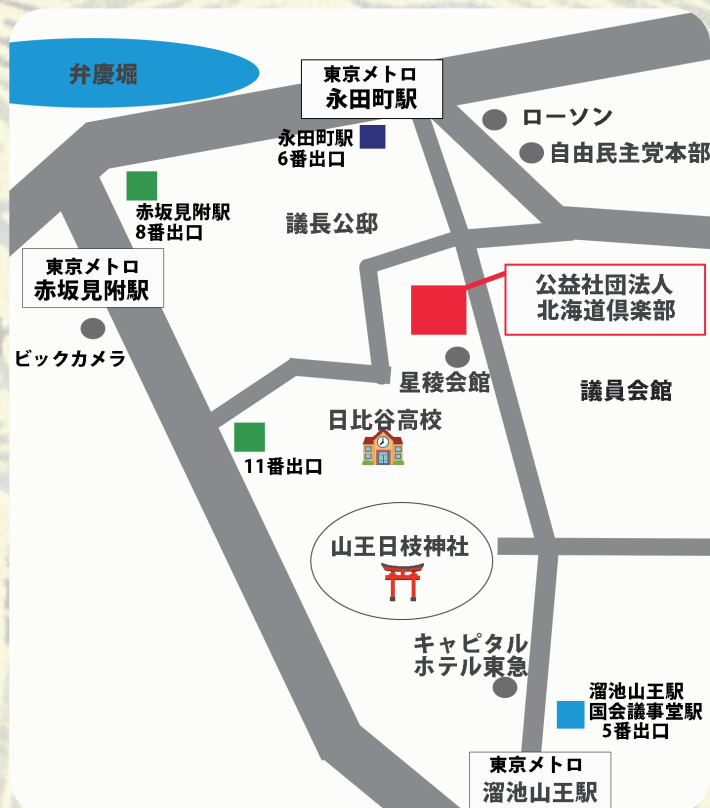
永田町ほっかいどうスクエア 1 階

TEL 03-3581-4021

FAX 03-3581-4022

Mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

<http://www.hokkaido-c.or.jp>



・最寄り駅からの所要時間

永田町駅	6 番出口から徒歩 3 分
溜池山王駅	5 番出口から徒歩 8 分
赤坂見附駅	8 番出口から徒歩 7 分
	11 番出口から徒歩 7 分

©HOMMA 20140213

We Love Hokkaido

公益社団法人北海道倶楽部のご紹介



公益社団法人
北海道倶楽部

○北海道倶楽部の事業概要

当倶楽部は、昭和2年新渡戸稲造ら北海道に縁を持つ首都圏在住者を中心に北海道の開発と発展を目的として設立された任意団体「北海道倶楽部」から始まりました。昭和41年に社団法人化し、平成26年1月6日に、公益社団法人に移行しました。

北方領土返還、ふるさと納税等の推進及び北海道新幹線早期実現の3大運動を柱とし、北海道及び北海道内の市町村（関係の団体を含む。以下「北海道等」という。）の健全な発展を目的として下記のような公益事業を行っています。

公益目的事業

北海道及び北海道内の市町村など（地域社会）の健全な発展を目的とする事業

（1）北海道等のための広報活動

・広報誌「北海道NOW」の発行、北海道情報ラックの設置、ホームページなどによる広報活動を行っています。

（2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動

・北海道等からの要望を取りまとめ、倶楽部が実施しているキャンペーン集会等の場で市町村等の地域活性化に資する事業を支援しています。

・倶楽部の広報誌「北海道NOW」でも関連する記事を掲載し、地域活性化に資する広報事業を行っています。

（3）北方領土返還運動

・北方領土隣接地域振興対策協議会への支援、北方領土返還の各種イベントへの協力を行っています。

・シンボルバッジ「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「CDちぎれ千島に雲が飛ぶ」等の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催、北方領土返還の署名活動を行っています。

（4）北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動

・ふるさと納税推進のための広報活動を行っています。

（5）北海道新幹線早期実現運動

・「早期実現『新幹線』バッジ」の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催などを行っています。

（6）講演会の開催

・当倶楽部の目的と深い関係のあるテーマの講演会等を広く一般も対象に原則無料で行っています。

北海道倶楽部のあゆみ

昭和2年	「北海道倶楽部」の創設 (新渡戸稲造などが会員として結成)
昭和23年	戦後、新生「北海道倶楽部」の設立総会 会報「北海道倶楽部」を創刊
昭和37年	北海道人交歓パーティー開催 参加者 400人 現在の交流イベント「We Love Hokkaido」
昭和41年	社団法人北海道倶楽部正式認可
昭和42年	北海道倶楽部所有の不動態を処分し北海道 開発庁 の職員寮寄付 開道100年と冬季札幌オリンピックにあたり北海道に国際空港を設置運動
昭和43年	北海道倶楽部特別基金募集、北海道東京事務所4 階増築整備および開道100年記念事業の費用拠出
昭和44年	北海道勤労青少年センターが発足
昭和46年	旭川国立医科大学の誘致運動展開 真駒内屋外スケート場前に札幌オリンピック・モ ニュメントを建設、寄贈(雪華の像 本郷新制作)
昭和47年	第1回北海道産業視察ツアーで道内政財界人と交 流(平成元年まで14回実施)
昭和52年	珠山被害義捐金街頭募金543万円
平成2年	北海道開発庁40周年で開発功労表彰
平成7年	「北海道開発に関する提言11項目」堀北海道知事へ提出
平成8年	「北海道・ゆめプラン」提言募集 倶楽部は東京事 務局として論文募集を担当
平成9年	ふるさと活性化フォーラム開催 「北海道自然体験学校」開催 倶楽部は東京事務局 として参加者募集を担当
平成10年	シンポジウム「北海道を考える」経団連会館で開催
平成11年	北海道の自立をめざす提言書「いま、北を考える」 を道知事、北海道開発庁長官に提出
平成12年	有珠山被害義捐金を募金
平成14年	「北海道倶楽部を語る会」を立上げ、倶楽部 活性化 策などにつき検討
平成15年	台風10号による日高被災者支援募金
平成20年	ふるさと北海道応援大使、大使館活動開始 ふるさと納税キャンペーン開始 公益事業の強化 創設60周年を記念してロゴマーク制作 「ふるさと納税キャンペーン」ギフト制度開始 「北海道情報ラック」開始
平成21年	秋葉原で情報展示イベント 広報紙「北海道Now」増刊号刊行 北海道で提案募集コンテスト開始 「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」
平成22年	北方領土返還推進ブラウンリボンバッジ・早期実現 新幹線バッジ頒布開始 北方領土返還ノサップ岬マラソン大会協力開始 代々木北海道フェアに出展開始、情報展示イベント
平成23年	CD「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」頒布開始
平成24年	1972年札幌五輪「雪華の像」(本郷新)補修 ふるさと納税寄附者に感謝状贈呈(交流イベント時)
平成25年	新事務所完成・移転 北方領土返還「千島桜」シンボルバッジ 配布開始
平成26年	公益社団法人移行、寄附のお願い(寄附税制適用)
平成27年	ふるさと納税制度開始から行っていたギフト制度を 役割終了のため終了
平成28年	「北海道NOW」に北海道自治体の紹介を連載開始
平成29年	寄附金の「税額控除に係る証明書」を交付される
平成30年	創立70周年
令和2年	新型コロナウイルスの影響で対面のキャンペーン集 会などが中止となり公益事業に多大な影響が出た。
令和4年	対面型イベントの一部を着席方式で開催
令和5年	8月より対面型イベントを従来形式に戻して開催

年間の公益事業・行事など

新年交礼会開催（1月）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン
「千島桜」シンボルバッジキャンペーン
「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン
「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日）

交流のタベを開催（例年開催時期8月4日）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧道産子の会、10月頃）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加どなたでも歓迎。有料。
キャンペーン、公益事業の広報、などを実施。

講演会、シンポジウムの開催（時期未定）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎
(講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、
一般参加を呼びかける。)

キャンペーンバッジ頒布

「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「新幹線バッジ」の
頒布を行う。

情報紙「北海道”NOW”」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道”NOW”」 本紙・
増刊号（年11回）を発行。一般配布(有料 月額80円)有り。

WEB版「北海道の市と町と村をご紹介します」の発行

情報紙「北海道”NOW”」に連載している1年分の市町村情報を
まとめ、小冊子形式のWEB版にして発行。無料閲覧可能。

北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

東京都内、近県に19箇所

ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

その他

倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・会計、北星会(ゴルフ))



「摩周湖」(弟子屈町)